

卓球を通して得た粘りと体力、生きぬく戦術 (※1)

高普第 12 回卒 (※2) 反畑 秀彦



生命保険会社の営業の中核部門である本社営業推進部の課長職にある。全国 96 支社のうち担当支社は 61。支社の営業計画、営業関係予算の立案、諸施策の立案営業成績の集計・管理・分析などに係わっている。

年々熾烈化する業界競争を勝ち抜くため、全ての目標は前年比 110%以上の伸展を達成すること。又、近年、生保、銀行、信託、証券の垣根が低くなり、「総合金融戦争」に勝ち残るために、その対応も急ピッチである。

新人類と言われる若手社員の能力は高く、コンピューターを駆使した資料作成や計画・実行力は目を見張るものがある。

(ア) 底抜けに明るい (イ) 体が頑健 (ウ) 逆境に強い (エ) 酒が好き (オ) 出入禁止になった飲み屋がある。 (カ) 会社に 2泊3日できる。

こんな資質を備えた人間でないと現在の仕事は務まらないらしい。(若手社員の声)

小生、勤続 22 年になる。

今まで卓球をやり続けたことによって得た粘りとか体力、戦略とか戦術といった頭の使い方が役に立って、人間関係や仕事でもうまく物事が進むことが多い。だから、今後も出来るだけ卓球を続けたいと考えている。

● 略 歴

- ・昭和 40 年 3 月 日本大学法学部卒業
- ・昭和 40 年 4 月 三井生命保険相互会社入社、現在は本社営業推進部業務課課長
- ・昭和 39 年 日本大学卓球部代表で韓国遠征
- ・昭和 40 年 第 29 回世界卓球選手権大会単・複出場 (スウェーデンのストックホルム)
- ・昭和 53 年 全日本実業団選手権大会硬式女子の部で三井生命優勝監督

(※1) 創立 90 周年記念誌『紅の旗』(1988(昭和 63)年 9 月 2 日発行) 「今こそ伝えたい、希望と勇気を」より。

(※2) 昭和 35 (1960) 年卒。

(転記 村山)